

科目ナンバリング										
授業科目名 <英訳>		統合科学：生命と社会（生命科学の進歩と人の生活） Interdisciplinary Sciences :Life and Society (Implications of the Progress in Life Science on Human Life)				担当者所属 職名・氏名		生命科学研究科 教授 千坂 修 生命科学研究科 教授 永尾 雅哉 生命科学研究科 准教授 神戸 大朋		
群	統合科学科目群			分野(分類)	統合科学			使用言語	日本語	
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）			
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	月5		配当学年	全回生	対象学生	全学向	
【授業の概要・目的】										
<p>科学・技術の進歩は、人の生活を大きく変えてきました。特に、20世紀後半からの生命科学の著しい進展の成果として、劇的な技術革新がもたらされました。それらは、私たちの身のまわりに多く存在して生活そのものに大きな影響を与えていますが、そのことを意識する機会はありません。そこで、本授業では生命科学の進歩と人の生活に着目し、具体的なテーマをいくつか挙げて解説します。さらに、それらの先端技術が現代社会にもたらす新たなリスクやその解決法などについて議論をおこなうことで、私たちの生活と生命科学の関わりについて多面的にとらえられるようになることを目的とします。</p>										
【到達目標】										
<p>現代社会において、生命科学が私たちの生活にどのように関わっているのかを、技術の側面のみならず倫理的・法的観点などを含めて多面的に理解する。また、ディスカッションを通じて、答えを求めることの難しい問題について総合的に考察する能力を養う。</p>										
【授業計画と内容】										
<p>3つのテーマについて講義し、最後に全てのテーマをとおして考えられる問題について総合ディスカッションをおこなう。また、各講義の終わりあるいはトピックスの切れ目に、グループディスカッション等をおこなう。</p> <p>ガイダンス（第1回）</p> <p>テーマ1：生命科学の視点からみた生物（第2回～第5回） 本テーマは、生命科学の基礎となる、遺伝子やタンパク質などの物質を基盤にした生命観への理解を深めることを目的とする。（担当：千坂修）</p> <p>テーマ2：技術の側面からみた生命科学（第6回～第9回） 生命と社会のつながりについて、バイオサイエンス・バイオテクノロジーの観点から解説する。 以下のテーマ ・先端医療（遺伝子診断、高額医療） ・生命・食料・環境を支える生物機能応用（食品添加物、遺伝子組替え作物）（担当：永尾雅哉、神戸大朋）</p> <p>テーマ3：社会との関わりからみた生命科学（第10回～第13回） 生命と社会のつながりについて、先端医療技術の進歩と生命倫理のかかわりという観点から解説する。 以下のテーマをとりあげる。</p>										
----- 統合科学：生命と社会（生命科学の進歩と人の生活）(2)へ続く -----										

統合科学：生命と社会(生命科学の進歩と人の生活)(2)

- ・生殖補助医療の倫理
- ・ヒト胚へのゲノム編集技術適用（担当：児玉聡）

総合ディスカッション（第14回）（全担当教員）

**【履修要件】**

特になし

**【成績評価の方法・観点】**

出席状況、課題についての発表とレポートなどを総合して評価。詳細は授業で説明します。出席は教室の出席登録端末にて管理。授業開始時刻より15分以降入室の場合は遅刻、30分以上以降入室は欠席扱いとします。

**【教科書】**

使用しない

**【授業外学修（予習・復習）等】**

授業内容を復習し、発表前には準備の時間をとること。

**【その他（オフィスアワー等）】**

メールでの質問可。面談はメールで予約を取ること。